



感染症週報

令和7年3月4日発行



小笠原での流行状況

第9週（2月24日から3月2日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

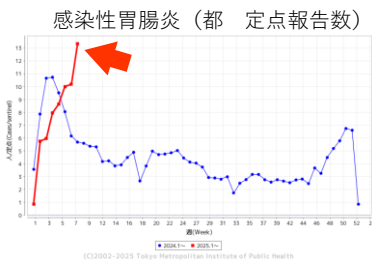
第8週（2月17日～2月23日）

【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

・感染性胃腸炎



・伝染性紅斑（リンゴ病）

警報は解除になりましたが、まだまだ高い水準です

伝染性紅斑（都 過去10年の定点報告数）



- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- ・感染性胃腸炎（ロタウイルス）
- ・RSウイルス

肺炎球菌を知っていますか？

肺炎球菌はヒトの口腔内にある常在菌の一つで、乳幼児からは高い頻度で検出される菌です。その名の通り肺炎を起こしたり、中耳炎の原因にもなります。また、これらの病気から髄膜炎や菌血症などに発展し、侵襲性肺炎球菌感染症を起こすことがあります。侵襲性肺炎球菌感染症は急激に悪化することがあり、死亡率は7%前後です。小児では後遺症が残りやすく、高齢者や慢性疾患を持つ人では更に死亡率が高くなる傾向があります。



肺炎球菌はこんな菌



おぼじゃないよ。

2人で1組の形をしています。

莢膜という膜に覆われているため、体の免疫による攻撃に強いという特性があります。

抗菌薬が作用する部位を変異させて、抗菌薬に耐性をもつ種類もあります。

肺炎球菌感染症予防には、毎日の感染対策（うがい、手洗いなど）とワクチン接種が有効です。

ワクチン定期接種

乳幼児：生後2か月以降（初回接種時期によって接種回数は変わります）。

高齢者：65歳以上または60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害のある方など。

摘脾した方や慢性呼吸器疾患（COPDなど）、糖尿病、喫煙者、心疾患、腎不全、肝疾患、血液悪性腫瘍などの方も接種が推奨されます。



3月は自殺対策強化月間です

ここナビ



生きているのが
つらいと感じた
ときの相談先

感染症メモ

出典、参考：国立感染症研究所 厚生労働省 日本化学療法学会 AMRリファレンスセンター

肺炎球菌の中には、PRSP（Penicillin-resistant Streptococcus pneumoniae）と呼ばれる耐性菌（抗菌薬に耐性がある菌）がいます。重篤な肺炎球菌感染症の原因菌がPRSPだった場合、強い抗菌作用を持つペニシリンGを治療に用いることができなくなります。PRSPは2004年まで報告数が増加していましたが、2005年以降は減少しています。これは、肺炎球菌ワクチンの定期接種による効果で肺炎球菌全体が減少した影響といわれています。また、新型コロナウイルス感染症が流行していた2020年～2022年の間は更に報告数が減少しています。耐性菌を増やさないためには、ワクチンで流行を防ぐことや、抗菌薬を適正に使用することが有効ですが、一人ひとりがマスクやうがい等の感染予防対策をしっかり行うことでも減らすことができます。また、高齢者や慢性疾患のある方など感染のリスクが高い人は人混みではマスクを着用しましょう。

習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所

